


このたびは、パーラー島専用セキュリティ & サウンドユニット pMAX -A1(ピーマックス エーワン)をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
本機の優れた機能をご理解頂き、末永くご愛用頂くためにも、この取扱説明書をよくお読み下さい。

	<p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ●水、湿気、ほこり、油煙などの多い場所に設置しないで下さい。火災、故障、感電の原因になります。 ●本装置の接続、カードの挿入・交換、各種設定・変更の際は、感電事故を避けるため、必ず、電源を切ってから行って下さい。
---	---

目次

1	概要	2
2	特長	2
3	主な用途	2
4	セット内容とオプション	3
5	各部の名称と機能	4
6	設置	5
7	設定・接続手順	5
8	使用するコントロールモードの設定・説明	6
	●係員呼出 A(後入力切替) ●係員呼出 B(順次記憶)	
	●係員呼出 A & 不正検知A(1 回出力)	
	●係員呼出 B & 不正検知B(エンドレスリピート出力)	
	●不正検知 A (1 回出力ー順次記憶)	
	●不正検知 B(エンドレスリピート出力) ●テストモード(登録データ確認用)	
9	遊技台との接続	9
	●係員呼出 ●係員呼出 [複数タイプの遊技台の場合]	
	●係員呼出 + 不正検知 ●不正検知	
	●不正防止 [複数タイプの遊技台の場合]	
10	拡声アンプ・スピーカーユニットの接続	12
11	カードデータの作成	13
	■音楽 CD や圧縮データ MP3 などのデータを使用したい場合	13
	■サポートソフト pMAX Editor	14
12	CF カードへのデータコピーとセット	14
13	DIP SW による各入力端子の音源データの設定	15
14	AC100V 電源との接続	16
15	動作試験・調整	16
	■ 困った時に(トラブル対策編)	17
	■ 参考 信号入出力等価回路 信号のタイミング	18
	■ 参考 外来ノイズ等による CPU 暴走時の自己復旧機能	18
	■ 参考 プログラムローダー	18
	■ 標準仕様	19
	■ 外形図	20

VoiceNavi 三共電子株式会社

<http://www.voicenavi.co.jp>

E-mail:info@voicenavi.co.jp

1.概要

pMAX-A1(ピーマックス エーワン)は音声・音響を利用したホール島専用の係員呼び出し &不正遊技防止ユニットです。

遊技台に接続した各種不正検知センサーからの信号を検知、音響・音声で不正遊技者に対して警報・警告並びに係員呼び出します。音響・音声に不正遊技者への警報・警告により周囲の遊技者を間接的に不正遊技者の監視員にすることにより不正遊技の抑止効果を高めることができます。

また不正遊技防止同様に、大当たり時の係員呼び出しにも対応できます。

CFカード(コンパクトフラッシュ)によるデータ交換、サポートソフト pMAX Editor によりクライアント自身でも音源データの登録・変更ができます。

2.特長

- 音声・音響により直接、不正遊技台者に警報・警告します。
- 音声・音響により周囲の遊技者を間接的に不正遊技台者の監視員にすることに抑止効果を高めます。
- 1島-4機種(または5機種)までの遊技台グループを接続・管理できます。
- 1島-4機種(入力端子)毎に、異なる音声・音響データを登録できます。
- DIPスイッチで複数の音声・音響データの中から1データを設定できます。
- 拡声アンプ(パワーアンプ)用ライン出力(600Ω 不平衡)装備。
- モニタースピーカー用スピーカー出力(5W 8Ω)装備。
- サポートソフト pMAX Editor によりクライアント自身でも音源データの登録・変更ができます
- 音源に WindowsOS の標準サウンドファイル「WAVE ファイル」採用。
- CFカード採用でデータ書換え・カード交換が容易にできます
- 幅 210×高さ 44×奥行き 160mm 薄型 EIA1U ハーフサイズより島(ブロック)の上に設置しても目立ちません。

3.主な用途

不正センサーの親受信機として	市販各種センサー(検知器)と接続します。 (注)接続の際は市販中継器(アダプタ)をご使用下さい。
係員呼出の親受信機として	市販各種センサー(検知器)と接続します。 (注)接続の際は市販中継器(アダプタ)をご使用下さい。

使用用途	音源データ例
不正防止 ・不正抑止	ピーポ・ピーポ+3番ブロック+マグネット検知+係員至急点検して下さい
	ピー・ピー+4番ブロック+クレマン検知クレマン検知+係員至急点検して下さい
	ピー・ピー+11番ブロック+クレマン検知クレマン検知+係員至急点検して下さい
	ミュージック・効果音
係員呼出	ファンファーレ A+****(遊戯台名)+大当たり、おめでとうございます。 「係員、万両箱準備願います」
	ピンポンピンポン+11番ブロック+係員、点検して下さい
	ピンポンピンポン+****(遊戯台名)+係員、点検して下さい
	ミュージック・効果音

4. セット内容とオプション

本製品は下記のセット内容になっています。
セット内容以外は販売店にお問い合わせ下さい。

■セット内容

名称	型式・規格	数量	備考欄
本体	pMAX-A1	1台	
ACアダプタ	IN AC100V 50/60Hz OUT DC+24V 1A	1台	
メモ리카ード	CFカード 128MB	1枚	サンプルデータ入(初回動作テスト用) サポートソフト pMAX Editor 収録

(注)メモ리카ードのデータは初回動作テスト後、お手持ちのPC等にバックアップして保存します。
サポートソフト pMAX Editor で作成したカードデータをコピーしてから pMAX-A1 にセットしてご使用下さい

■サポートソフト pMAX Editor とカードアダプタの入手方法

自社でカードデータを作成する場合、サポートソフト pMAX Editor とカードアダプタが必要です。

名称	備考欄
サポートソフト pMAX Editor	1.付属品 CFカード内に収録 2.ホームページ www.voicenavi.co.jp からダウンロード
カードアダプタ	1.市販のUSBカードリーダー 2.パソコン内蔵のカードリーダー

■販売代理店の取り扱いオプション

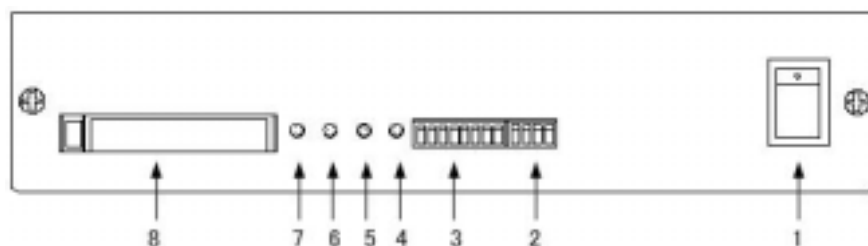
下記製品につきましては販売代理店にお問い合わせ下さい。

名称	型式・規格	数量	備考欄
USBカードアダプタ	CF/SD/SMカード用	1台	市販品
CFカード	CFカード 128MB (256MB他)	n枚	市販品
拡声アンプユニット	ローインピーダンスタイプ またはハイインピーダンスタイプ	n台	市販品
スピーカユニット	ローインピーダンスタイプ またはハイインピーダンスタイプ	1~2台 n台	市販品
同上用ケーブル		n本	必要数
遊技台中継器	不正関係検知センサー用中継器 大当たり情報用中継器	n台	必要数
各種センサー(検知器)		n個	必要数

(注) 1.本製品の設置・接続費用は含まれていません。
2.CFカードに収納する音源データの製作・コピー費用は含まれていません。
3.上記製品につきましては当社の保証外になります。

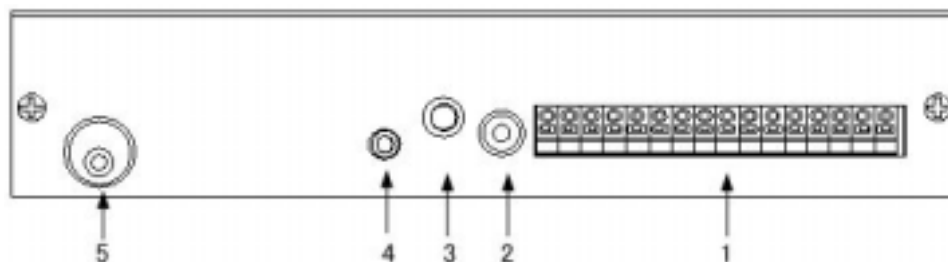
5. 本体各部の名称と機能

■フロントパネル



	表示	名称	内容
1	POWER	電源スイッチ	電源 ON/OFF
2	MODE	モードスイッチ	コントロールモードの設定
3	SOUND	音源データ選択スイッチ	
4	POWER	電源 LED	電源 ON 中点灯
5	FUSEI	不正 LED	不正検出中点灯
6	PLAY	再生 LED	再生中点灯
7	CD	カード LED	CF カードインサート中点灯
8	Flash Card	CF カード用コネクタ	CF カードをインサートします。

■リヤパネル



	表示	名称	内容
1		信号入力 信号出力	遊戯台(グループ)と接続します。 外部機器等で使用できます
2	LINE OUT	ライン出力	600Ω 不平衡
3	MONITOR SP VR	モニタースピーカー用 音量ボリューム	MONITOR SP OUT 用音量調整
4	MONITOR SP OUT	モニタースピーカー出力	8Ω/5Wmax
5	IN DC+24V	DC Jack (OUT DC+24V 1A)	付属品の AC アダプタを接続します

6. 設置

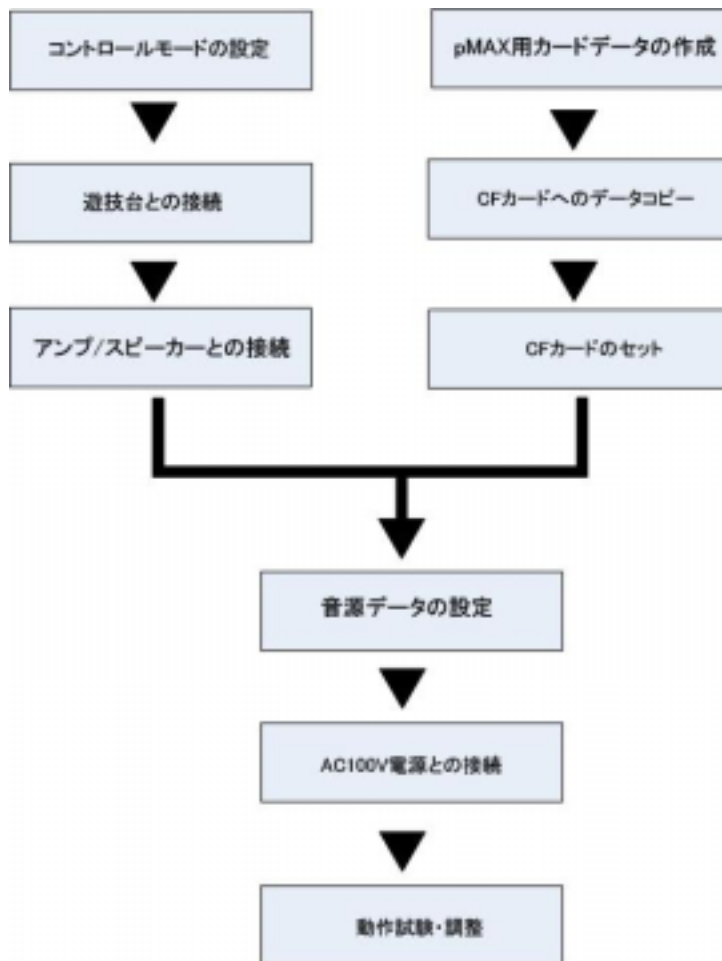
本製品は、遊戯台の島(ブロック)の上に据え置きします。
ほこり・ちりが多い場合、本体を市販カバー・ケース等で覆い、保護して下さい

■設置上のご注意

使用環境	使用時: -5°C ~ 55°C 35% ~ 80%RH 保存時: -10°C ~ 70°C (但し結露なき事) 水、湿気、ほこり、油煙などの多い場所に設置しないで下さい
湿気・雨水	湿気が多く、結露するような環境では使用できません。
ほこり・ちり	ほこり・ちりが多い場合、本体を市販カバー・ケース等で覆い、保護して下さい

7. 設定・接続手順

使用するコントロールモードにより、接続やリアパネルの端子台名称が変わります。
係員呼び出し、不正防止または係員呼び出し+不正防止兼用で使用するかの使用用途を決めて下さい。



■コントロールモードの設定

フロントパネルのモード SW(4P DIP SW)でコントロールモードを設定します。

■遊戯台との接続

各種センサー(検知)を市販中継器(アダプタ)経由で接続します。

■遊戯台との接続

拡声アンプ/スピーカーユニットを接続します。

■pMAX 用カードデータの作成

サポートソフト pMAX Editor で音源データの登録・カードデータを作成します。

■CFカードへのデータコピー

作成したカードデータを市販カードアダプタ経由でCFカードにコピーします。

■CFカードへのデータコピー

作成したカードデータを市販カードアダプタ経由でCFカードにコピーします。

■CFカードのセット

CFカードを pMAX 本体のカードコネクタにセットします。

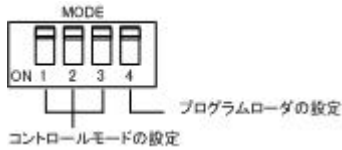
■AC100V 電源との接続

ACアダプタを商用 AC100V 電源と接続します。

■動作試験・調整

各入力端子 IN 1~4/IN X に信号を入力し、設定した音源データが再生出力するか確認します。
その際、音量も調整します。

8. 使用するコントロールモードの設定・説明



フロントパネルの MODE SW の 1～3 の設定でコントロールモードを設定します。

MODE SW の 4 は、CF カードを使用してコントロールモードを変更・追加する際に使用します。

(ご注意) 設定するコントロールモードにより、遊戯台との接続方法が異なります。
またリアパネル端子台の入力信号名が異なります。

MODE SW	No.	コントロールモード名	入力	
			係員呼出用	不正防止用
	1	係員呼出 A(後入力切替)	5 点	-
	2	係員呼出 B(順次記憶)	5 点	-
	3	係員呼出 A & 不正検知 A(1 回出力)	4 点	1 点
	4	係員呼出 B & 不正検知 B(エンドレスリピート出力)	4 点	1 点
	5	不正検知 A(1 回出力ー順次記憶)	-	5 点
	6	不正検知 B(エンドレスリピート出力)	-	5 点
	7	予備(空き)	-	-
	8	テストモード(登録データ確認用)	-	-

[コントロールモードの説明]

1. 係員呼出 A(後入力切替)

入力端子 IN 1-4 IN X (IN 5 と読み替える)

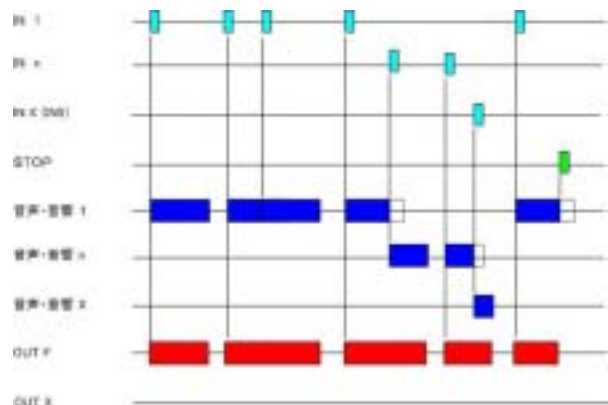
信号 ワンショット 50msec 以上

IN1-4 と本来不正検知用の IN X(IN5 と読み替える)とを
入力端子とします。

入力により、該当するCHを出力します。出力中に次
入力があった場合、即座に該当するCHを出力しま
す。(出力中のCHに入力があった場合も同様とする
＝頭から出力)

出力中は OUT F を送出します。

STOP 入力で出力終了します。



2. 係員呼出モード B(順次記憶)

入力端子 IN 1-4 IN X (IN 5 と読み替える)
信号 ワンショット 50msec 以上

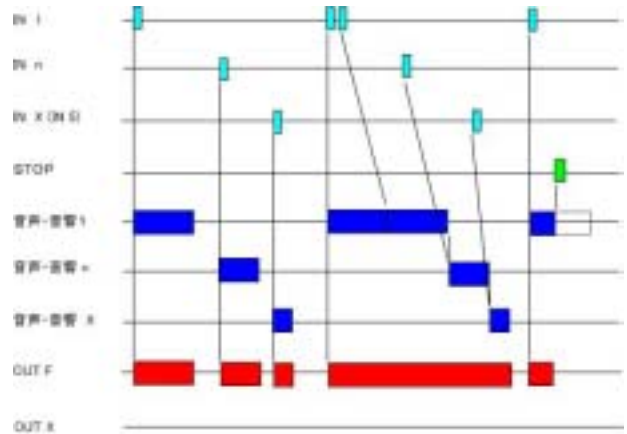
IN1-4と本来不正検知用の INX を IN5 と読み替えた端子を入力端子とします。

入力により、該当するCHを出力します。出力中に次入力があった場合、バッファ内に記憶してFIFOで出力します。

バッファの記憶数は最大、20max.とします。

出力中は OUT F を送出します。(FUSEI入力も)

STOP入力で出力し、バッファ内の記憶終了します。



3. 係員呼出モード(後入力切替) & 不正検知A(1 回出力)

入力 IN 1-4 係員呼出用
ワンショット 50msec 以上
IN X 不正検知用
レベル信号 50msec 以上継続
(またはワンショット 50msec 以上)

IN1-4入力により、該当するCHを出力します。出力中に次入力があった場合、即座に該当するCHを出力します。(出力中のCHに入力があった場合も同様とする=頭から出力)

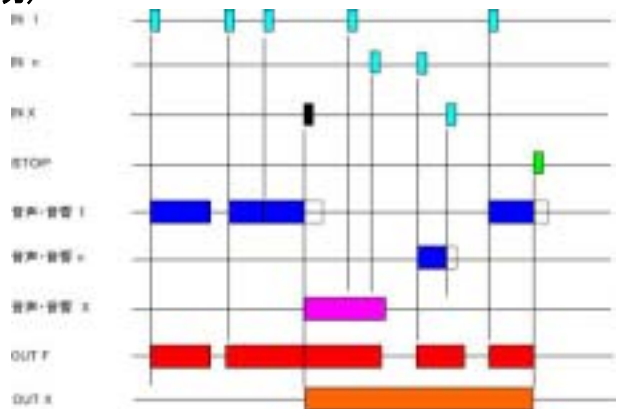
出力中はOUT Xを送出します。STOP入力で出力終了します。

IN Xに入力があった場合、該当するCHを1回(エディタ上、組立・リピート回数を設定)出力して終了します。

同時に、OUT X を出力、上記の出力時間に関係なく、出力を保持します。

STOP入力で OUT X 出力終了します。

または電源をOFFONします。



4. 係員呼出モード(後入力切替) & 不正検知モード B(エンドレスリピート出力)

入力 IN 1-4 係員呼出用
ワンショット 50msec 以上
IN X 不正検知用
レベル信号 50msec 以上継続
(またはワンショット 50msec 以上)

IN1-4入力により、該当するCHを出力します。出力中に次入力があった場合、即座に該当するCHを出力します。(出力中のCHに入力があった場合も同様とする=頭から出力)

出力中はOUT Fを送出します。

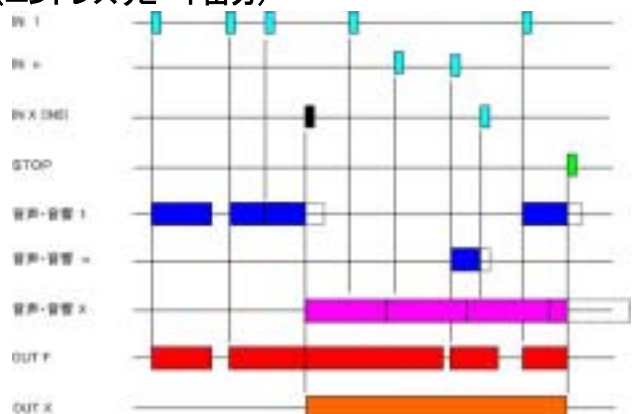
STOP入力で出力終了します。(初期状態にする)

IN X に入力があった場合、該当するCHをSTOP入力があるまでリピート出力します。

OUT X 出力も同様です。

STOP入力でFUSEI OUT出力終了します。

または電源をOFFONします。



5.不正検知モード A (1 回出力-順次記憶)

入力 IN 1-4 不正検知用

レベル信号 50msec 以上継続
(またはワンショット 50msec 以上)

IN X 不正検知用

レベル信号
(またはワンショット 50msec 以上)

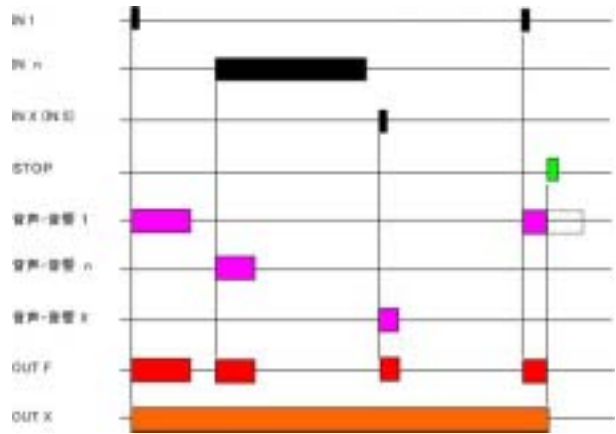
本来、係員呼出用のIN1-4を不正検知用にし、計 5 点とします。

IN 1-4 と IN X に入力があつた場合、該当するCHを 1 回(エディタ上、組立・リピート回数を設定)出力して終了します。

連続入力の場合、バッファ内に記憶してFIFOで出力します。バッファの記憶数は最大、5max.とします。

同時に、OUT X を出力し、上記の出力時間に関係なく、出力を続けます。

STOP入力で OUT X 出力終了します。(初期状態にする)



6.不正検知モード A(エンドレスリピート出力)

入力 IN 1-4 不正検知用

レベル信号 50msec 以上継続
(またはワンショット 50msec 以上)

IN X 不正検知用

レベル信号
(またはワンショット 50msec 以上)

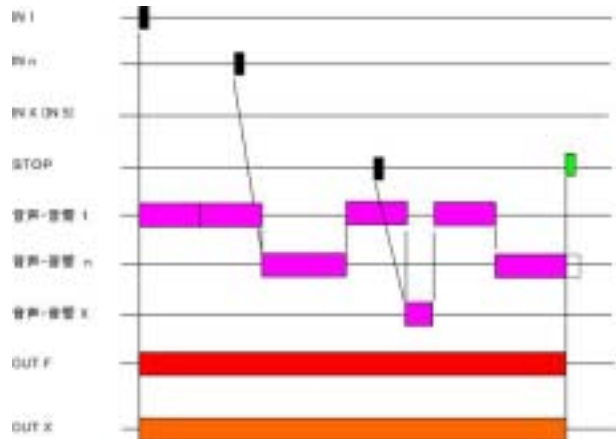
本来、係員呼出用のIN1-4を不正検知用にし、計 5 点とします。

IN 1-4 と IN X に入力があつた場合、該当するCHをSTOP入力があるまでリピート出力します。

複数入力がある場合、交互に出力します。

OUT X 出力も同様です。

STOP入力で OUT X 出力終了します。(初期状態にする)



7.予備(空き)

8. テストモード(登録データ確認用)

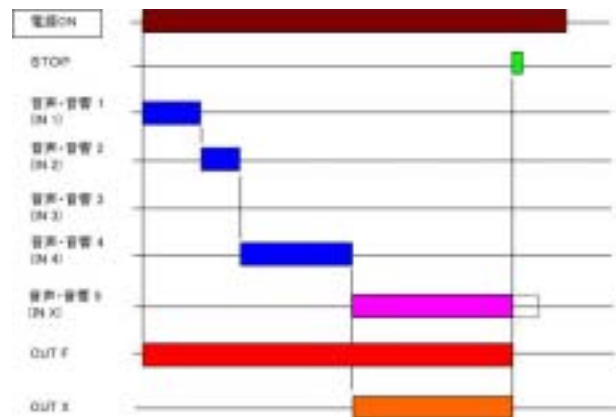
本モードは、クライアントがCFカードのデータ有無とDIPSW割付の確認用にします。

また当社ではクライアントからのクレーム・問い合わせ時、実装されているCFカード内のデータ有無の確認依頼用にします。

電源ONで、IN1-4, IN X (IN5)に該当するCHデータを出力します。(1 回)

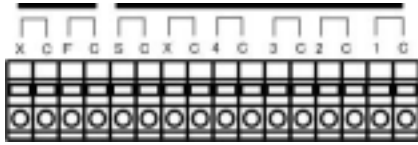
IN1-4 はDIPSWで設定したCHデータを出力します。

STOP入力で全ての出力を終了します。



9.遊技台との接続

遊技台からの大当り信号や不正検知信号を市販中継器経由または直接で接続します。
 (注)コントロールモードにより、信号名・内容が異なります。信号名を読み替えてご使用下さい。



スクリーレス端子台 ML-700-16 サトーパーツ
 [適合電線]
 撚線: 0.3mm²~1.25mm²(AWG22~AWG16)
 素線径: φ0.18以上

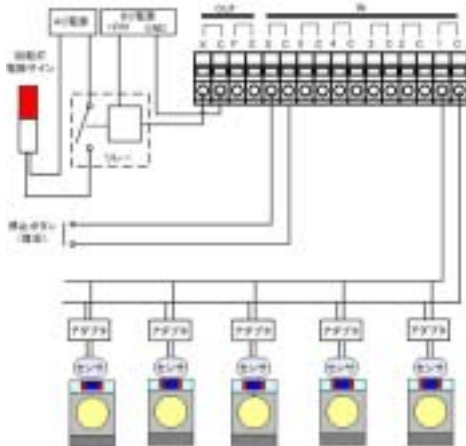
■スクリーレス端子台

	シルク表示	名称	内容	モードによる信号名の読み替え		
				係員呼出	不正防止	係員呼出+不正防止
IN	1	IN1	入力信号 1	IN 1	FUSEI 1	IN 1
	C	COM		COM	COM	COM
	2	IN2	入力信号 1	IN 2	FUSEI 2	IN 2
	C	COM		COM	COM	COM
	3	IN3	入力信号 1	IN 3	FUSEI 3	IN 3
	C	COM		COM	COM	COM
	4	IN4	入力信号 1	IN 4	FUSEI 4	IN 4
	C	COM		COM	COM	COM
	X	IN X	入力信号 1	IN 5	FUSEI 5	FUSEI
	C	COM		COM	COM	COM
S	STOP	STOP(停止)信号	STOP	STOP	STOP	
C	C		COM	COM	COM	
OUT	F	OUT PLAY	再生出力信号	PLAY	PLAY	PLAY
	C	COM		COM	COM	COM
	X	OUT X	不正検知出力信号	COM	HUSEI	HUSEI
	C	COM		COM	COM	COM

■入出力信号 無電圧メーク接点信号(または NPN オープンコレクタ)で使用します。

	表示	係員呼出	不正防止	係員呼出+不正防止	信号内容
IN	1-4	IN1-4	FUSEI1-4	IN1-4	無電圧メーク接点(またはNPNオープンコレクタ) 50msec 以上
	X	IN5	FUSEI	FUSEI	無電圧メーク接点(またはNPNオープンコレクタ) 50msec 以上
	STOP				無電圧メーク接点(またはNPNオープンコレクタ) 50msec 以上
OUT	F				オープンコレクタ出力(DC+50V, 500mA)
	X				オープンコレクタ出力(DC+50V, 500mA)

(注) IN1-4/X/STP のパルス幅 50m < T < 1000msec.



■センサー(検知器)

- ・体感検知器・ホッパー監視器・クレジット監視器
- ・電波検知器・瞬断検出器
- ・磁石検出器他

■センサー(検知器)と pMAX-A1 との接続

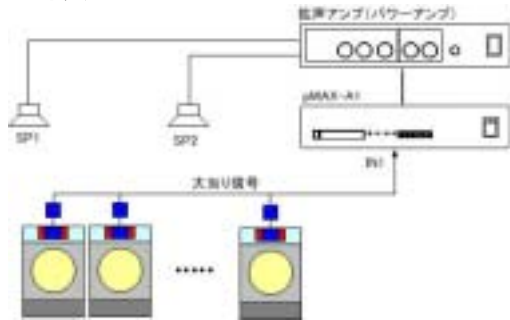
市販アダプタ(中継器)経由で pMAX-1 と接続します。

信号形式は無電圧メーク接点(または NPN オープンコレクタ)・ワンパルス(50m < T < 1000msec.以上)です。

レベル(連続反転)信号の場合、レベル→ワンパルス用のアダプタをご使用下さい。

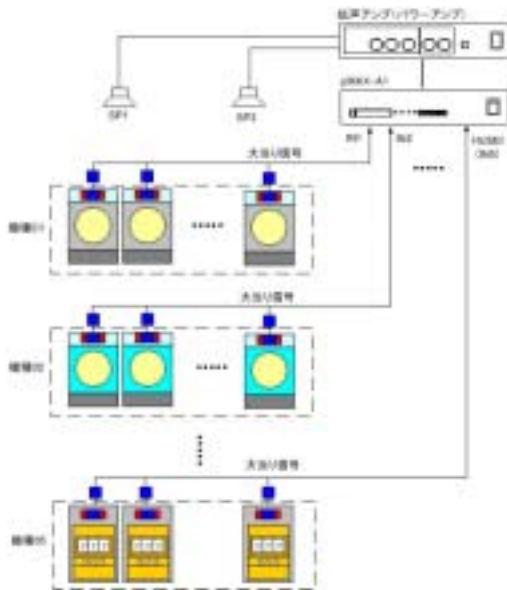
■接続例

●係員呼出



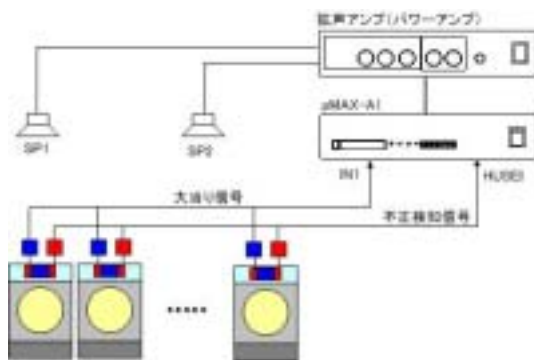
(モード) 係員呼出 A(後入力切替) 5点
係員呼出 B(順次記憶) 5点

●係員呼出 [複数タイプの遊戯台の場合]



(モード) 係員呼出 A(後入力切替) 5点
係員呼出 B(順次記憶) 5点

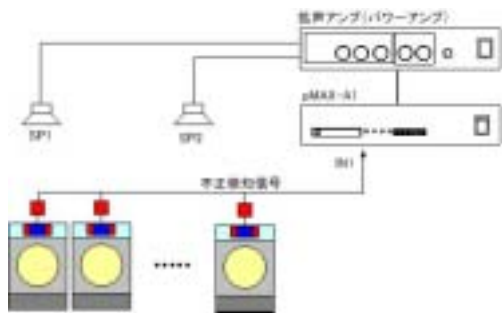
●係員呼出+不正検知



(モード)
係員呼出 A(後入力切替) & 不正検知 A(1回出力) 4点+1点
係員呼出 A(後入力切替) & 不正検知(エンドレスリピート出力) 4点+1点

(注)不正検知の音響停止-電源 OFF
外付け停止(復旧)ボタン

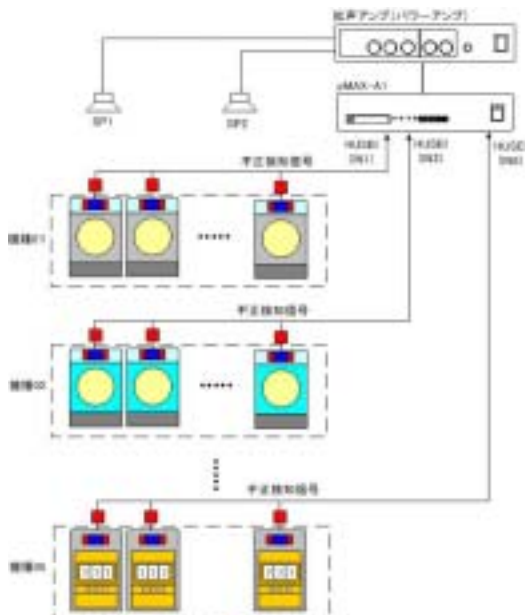
●不正検知



(モード)不正検知 A (1回出力) 5点
不正検知 B(エンドレスリピート出力) 5点

(注)不正検知の音響停止-電源 OFF
外付け停止(復旧)ボタン

●不正防止 [複数タイプの遊戯台の場合]



(モード)不正防止 A (1回出力) 5点
不正防止 B(エンドレスリピート出力)5点

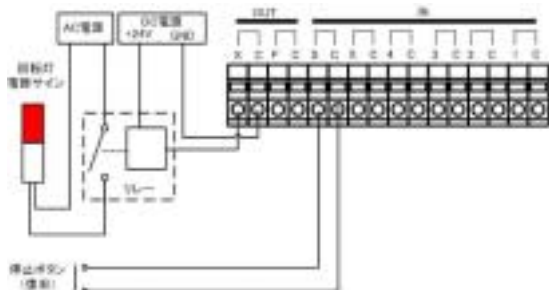
(注)不正検知の音響停止-電源 OFF
外付け停止(復旧)ボタン

■外部出力 F/X を使用する場合

トランジスタ出力で駆動できる外部機器の電気容量に制限があります。リレーなどを介して、外部機器を制御するようにして下さい。

pMAX-1 の再生時、BUSY 出力します。(タイマー作動時も含む)

BUSY 出力 オープンコレクタ出力 (DC+50V, 500mA)



10. 拡声アンプ・スピーカーユニットとの接続

市販の拡声アンプ(パワーアンプ)/スピーカーユニットと接続します。

■LINE OUT

名称	仕様	端子
LINE OUT	600Ω 不平衡 -6.5dBm~1.5dBm (出荷時 0dBm 固定)	PIN ジャック

■拡声アンプ(パワーアンプ)/スピーカーユニット

市販の拡声アンプ(パワーアンプ)/スピーカーユニットにはロー・インピーダンスタイプとハイ・インピーダンスタイプがあります。

[参考]

アンプタイプ	型式・メーカー
ロー・インピーダンス	[アンプユニット] ローランド、ポーズ、パナソニック、TOA、ビクター、ユニベックス他 [スピーカーユニット] 8Ωスピーカーユニット (4Ωまたは16Ω)
ハイ・インピーダンス	[アンプユニット] PAシステム用(パナソニック、TOA、ビクター、ユニベックス他) [スピーカーユニット] ハイ・インピーダンス仕様スピーカーユニット

■接続例

●拡声アンプがステレオの場合



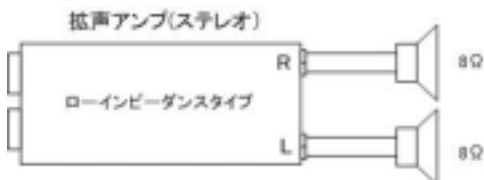
市販 AV 接続ケーブル (ピン 1<->ピン 2)を接続します。

●拡声アンプがモノラルの場合



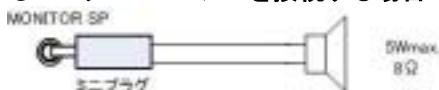
市販 AV 接続ケーブル (ピン1<->ピン 1)を接続します。

●拡声アンプにスピーカーユニットを接続する場合



(注)
拡声アンプ(パワーアンプ)の最大出力W以上のスピーカーユニットをお選び下さい。

●モニタースピーカーを接続する場合

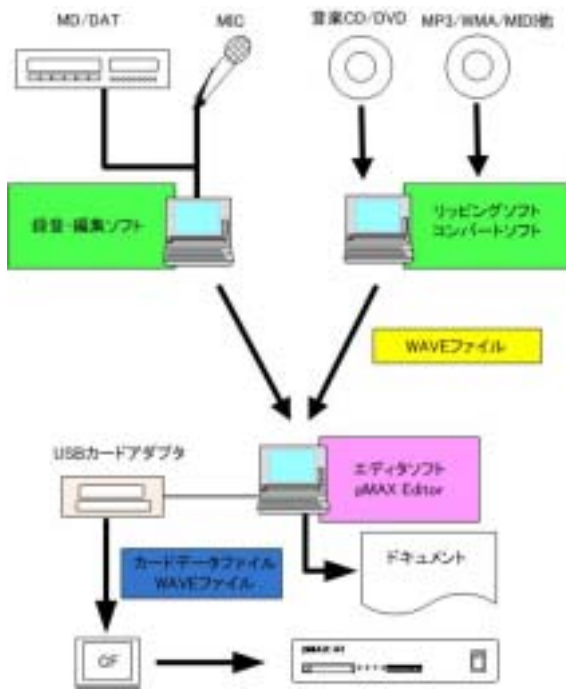


表示	定格出力	音量調整
MONITOR SP OUT	5W max .8Ω	リアパネル MONITOR SP VR

11. カードデータの作成

サポートソフト pMAX Editor で音源データを登録・試聴・カードデータ作成します。
作成したカードデータをUSBカードアダプタで CF カードにコピーして使用します。

詳しくはユーザーズマニュアル pMAX Editor をご覧下さい。



■音源データ(WAVEファイル)の用意

パソコン録音、音楽 CD リッピング等で使用する音源データ(WAVE ファイル)に用意します。

- ・パソコン録音
- ・音楽 CD からリッピング
- ・MP3/WMA/MIDI データのファイル変換

■カードデータの作成

サポートソフト pMAX Editor を使用して、音源データを登録、カードデータを作成します。

■CF カードへコピー

市販 USB カードアダプタ経由で CF カードにカードデータをコピーします。

■pMAX シリーズにセット

CF カードを pMAX シリーズにセットします。
CF カードをセット後、pMAX シリーズの電源を投入します。

■音楽 CD や圧縮データ MP3 などのデータを使用したい場合


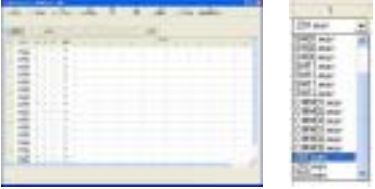
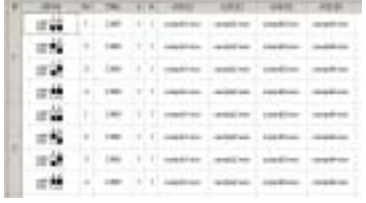



項目	対処方法
スタジオに音源データ作成を依頼	音源ファイル形式: WAVE 44.1/22.05KHz 16/8Bit Mono 記憶媒体: CD-R 他 (注) MAC または Windows でハイレベルなソフトを使用している場合、「付加情報-無」にするように指示して下さい。付加情報があると pMAX シリーズ本体側でその音源データを認識できない(再生できない)場合があります。
自社でパソコン録音してデータを作成したい	ノート PC または USB サウンドユニットとフリーウェア・市販の録音編集ソフトを使用して、デッキからライン入力またはマイクで録音します。 詳しくはユーザーズマニュアル pMAX Editor をご覧下さい。
音楽 CD のデータを使用したい	リッピングソフトでリッピングして pMAX Editor で使用できる音源データ形式(WAVE ファイル)にする必要があります。 詳しくはユーザーズマニュアル pMAX Editor をご覧下さい。
MP3 などの圧縮ファイルを使用したい	ファイル変換ソフトでファイル形式を変換して pMAX Editor で使用できる音源データ形式(WAVE ファイル)にする必要があります。 詳しくはユーザーズマニュアル pMAX Editor をご覧下さい。

(注) 著作権フリー音源以外の音源に関しては、著作権をクリアしてからご利用下さい。

■サポートソフト pMAX Editor

無償 WEB 配布または販売代理店

サポートソフト pMAX Editor 上で音源データ(WAVE ファイル)を登録、エディタ画面で各接点端子(アドレス)に音源データ、その際組立再生・リピート回数などのプログラム登録もできます。コントロールデータ作成画面に作成者・作成日などの所定事項を入力し、データ作成ボタン ON します。作成したデータと音源データを CF カードにコピーし、dMAX シリーズにセットして使用します。

音源データ登録画面	エディタ画面(入力端子/DIPSW)	エディタ画面詳細
		
音源データ(WAVE ファイル)を登録・削除・試聴できます。ファイル個別/フォルダー括登録ができます。	音源データ登録画面で登録した音源データを入力端子/DIPSW に登録・削除・試聴できます。	入力端子/DIPSW毎に最大 4 データまでの組立再生、5 日までのリピート回数再生などのプログラムができます。
カードデータ作成画面 1	カードデータ作成画面 2	カードデータ作成画面 3
		
作成するフォルダ名、カードデータファイル名などの情報を入力します。	作成日、作成者などの情報を入力します。	カードデータ作成ボタン ON で Program Files pMax Editor CardData 入力したフォルダ名 内にカードデータを作成します。

12. CF カードへのカードデータのコピーとセット

添付の CF カードをご使用下さい。必ず、電源 OFF 状態で CF カードの脱着を行って下さい。

■カードデータのコピー

サポートソフト pMAX Editor で作成したカードデータを USB カードアダプタ経由で CF カードにコピーします。
(ご注意)フォルダ毎、コピーしますと電源投入時、カード認識できません。

サポートソフト pMAX Editor の CardData 内の.pmx と.wav ファイルだけコピーします。

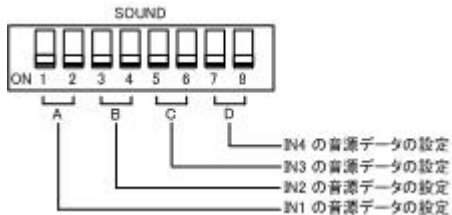
●登録時間 カード容量と WAVE ファイルのサンプリング周波数による

カード容量	44.1KHz 16Bit Mono	22.05KHz 16Bit Mono
128MB	22.4 分	44.8 分
256MB	44.8 分	89.6 分
512MB	89.6 分	179.2 分
1GB	179.2 分	358.4 分

●カードフォーマット(初期化) 添付の CF カードはそのままご使用できます。

CF カード状況	使用可否	対処方法
添付のカード/新規購入のカード	○	そのままご使用できます。
FAT32/ NTFS フォーマットのカード	×	FAT(FAT16)でフォーマット
デジタルカメラで使用したカード	×	FAT(FAT16)でフォーマット

13. DIP SW による各入力端子の音源データの設定



SOUND SW(8P DIP SW)を使用して、IN1~4 の各入力端子に該当する音源データを設定します。

(注) IN X は本 SW では設定できません。
サポートソフト pMAX Editor 登録

●入力端子 IN1

1		pMAX Editor No
	1	No.1
	2	No.2
	3	No.3
	4	No.4

●入力端子 IN2

2		pMAX Editor No
	1	No.5
	2	No.6
	3	No.7
	4	No.8

●入力端子 IN3

3		pMAX Editor No
	1	No.9
	2	No.10
	3	No.11
	4	No.12

●入力端子 IN4

4		pMAX Editor No
	1	No.13
	2	No.14
	3	No.15
	4	No.16

■サポートソフト pMAX Editor 上での DIP SW に対応する音源データの登録

サポートソフト pMAX Editor 上で音源データ(WAVE ファイル)を登録・変更します。
pMAX-1 は 8P DIP SW を使用して入力端子 IN 1-4 各 1 音源を設定できます。

(注) R=リピート回数 Voice(音源データ) 1-4 組立再生

入力端子	DIP SW 設定	サポートソフト pMAX Editor					
		No.	R	Voice(音源データ)			
				1	2	3	4
IN1	A (DIP SW 1-2) 	1	1	データ 01			
		2	1	データ 02			
		3	1	データ 03			
		4	1	データ 04			
IN2	B (DIP SW 3-4) 	5	1	データ 05			
		6	1	データ 06			
		7	1	データ 07			
		8	1	データ 08			
IN3	C (DIP SW 5-6) 	9	1	データ 09			
		10	1	データ 10			
		11	1	データ 11			
		12	1	データ 12			
IN4	D (DIP SW 7-8) 	13	1	データ 13			
		14	1	データ 14			
		15	1	データ 15			
		16	1	データ 16			
INX (IN5)	DIP SW では設定できません	17	1	データ 17			

14.商用 AC100V 電源との接続

付属品の AC アダプタを使用して、商用電源 AC100V 電源と接続します。

CFカードを pMAX-A1 本体のカードコネクタにセット後、電源を投入して下さい。

使用電源	消費電力	
	待機時	動作時
商用 AC100V 電源	約 12W	約 90W(max)

(ご注意) **【落雷対策】**AC 電源ラインにパソコン用の雷サージキラー付きコンセントをご使用下さい。
【CF カード脱着】CF カードの脱着時は必ず、電源 OFF 状態で行って下さい。

15.動作試験・調整

IN 1~4/IN X に信号入力を行い、下記の調整を行います。(但し、未接続・未登録事項は除く)

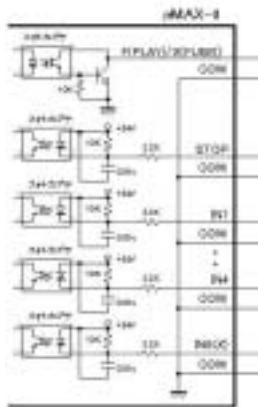
不具合がある場合「困った時に (トラブル対策編)」をご参照の上、対策します。

	点検項目	点検内容	点検箇所・方法
1	コントロールモード	設定したコントロールモード動作するか	MODE SW
2	音源データの設定	設定した音源データが再生するか	SOUND SW サポートソフト pMAX Editor 上の登録内容
3	MONITOR SP OUT	スピーカーから出力しているか	接続
4	MONITOR SP VR	ボリュームで音量が可変するか	接続
5	LINE OUT	接続した拡声アンプユニットから出力しているか	接続
6	外部出力 OUT F X	出力するか	接続
番外	CF カード内のデータ	CF カード内のデータが再生するか CF カードのフォーマットが正しいか	モードスイッチでコントロールモード 8. 予備(登録データ確認用)に設定します。 電源 ON で pMAX Editor で登録した音源データが順番に再生するか

■困った時に(トラブル対策編)

困った状態	LED表示	原因	対処方法
まったく再生しない 再生しない WAVE ファイルがある	PLAY LED 点滅	pMAX 本体で認識できない WAVE ファイル	MAC や Windows のハイレベルな録音編集ソフトで録音した WAVE ファイルです。 「付加情報-無」で WAVE ファイルを作成します。 またはフリーウェア「ウェーブパセリ」、市販ソフト「サウンドイット」でファイル読み込み・保存します。
			出所不明な WAVE ファイルが原因です。 拡張子は.wav ですが実際は異なる。但しパソコン上では再生する場合があります。 対処方法はデータによりけり。
	PLAY LED 点滅	フォルダ毎コピーしている 作成したカードデータファイル(.pmx)と音源ファイル(.wav)が認識できない。	作成したカードデータファイル(.pmx)と音源ファイル(.wav)をフォルダ内から外へ移動させる。
	PLAY LED 点滅	カードのフォーマットが違う	デジカメ、FAT32 やNTFS でフォーマットしています。 FAT16 でフォーマットし、カードデータをコピーします。
	PLAY LED 点滅	WAVE ファイル(**.wav)がない	CF カードへコピーの際、WAVE ファイルをコピーしていない。コピーして下さい。
	PLAY LED 点滅	カード内にカードデータファイル(**.pmx)がない	CF カードへコピーの際、カードデータファイルコピーしていない。コピーして下さい。
		音量ボリューム「小」	再調整
		接続ミス	コネクタの接続を点検し(特に COM 端子部)、再接続
		再生モード設定ミス	再生モードを確認し、再設定
		タイマーモード設定ミス	タイマーモードを確認し、再設定
再生しない入力端子がある	POWER LED 点灯しない	電源が接続されていない	接続を点検し、接続します。
		極性が間違っている	接続を点検し、接続します。
時々、リセット状態になる		接続ミス	接続参考図を参照の上、コネクタの接続を点検し、再接続
	PLAY LED 点滅	その入力端子に対応した WAVE ファイルがない	CF カードへコピーの際、その WAVE ファイルをコピーしていない。コピーして下さい。
入力端子とデータ内容が合っていない		登録ミス	pMAX Editor で登録内容を確認します。
		設定ミス	SOUND SW の設定を確認します。
組立再生・リピート回数が違う		登録ミス	pMAX Editor で登録内容を確認します。
再生しなくなった		pMAX 本体内の回路異常・破損	強力なノイズ等(落雷他)で pMAX 本体の回路が破損する可能性もあります。

■参考 信号入出力等価回路



中継器(アダプタ)からの信号-無電圧メーク接点

■参考 信号のタイミング

信号名称	時間
IN1-4/X	50msec 以上
STOP	50msec 以上
F/X 出力	50msec
音声・音響スタート	10msec.

■参考 外来ノイズ等によるCPU暴走時の自己復旧機能（ウォッチドッグタイマー利用自己復旧機能）

pMAX シリーズは外来ノイズ等により装置内のCPUが暴走した場合、ウォッチドッグタイマーによりCPUを強制リセットをかけます。これにより、CPUはイニシャライズされ、入力信号待機状態になります。

(注)強力なノイズ等の場合、本機能が機能しない場合があります。電源 ON/OFF でリセットしてください。

■参考 プログラムローダー（プログラム書き換え）機能

CF カードを使用して、〈ユーザー〉仕様の再生モード・タイマーなどのプログラムを書き換えできます。

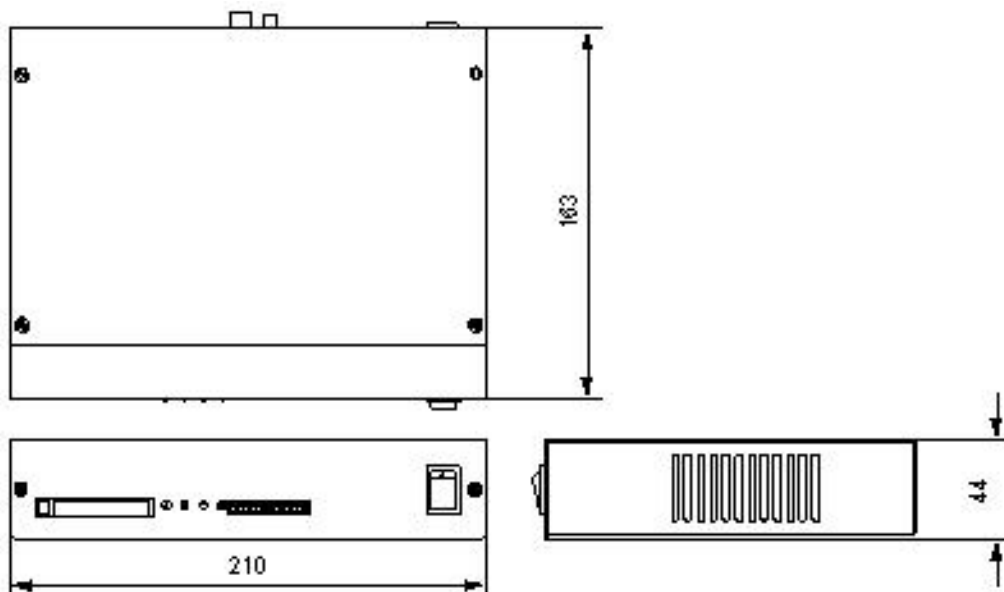
下記 DIP SW 設定、pMAX シリーズ用のコントロールモードを収納した CF カードをセット、電源 ON で pMAX シリーズ内のコントロールモードを書き換えます。

DIP SW1				
1	2	3	4	書換
			1	無効
			● 2	有効

■標準仕様

定格使用電圧	AC100V 50/60Hz AC 電源コード		
消費電力	待機時 約 12W 最大時 約 90W		
寸法・重量	210W X 44H X 163Dmm 突起部含まず 約 2.5kg		
塗装・仕上・材質	ブラック 塗装 スチール		
使用温度・湿度	-5°C~55°C 35%~80%RH(但し結露なき事)		
保存温度	-10°C~70°C		
接続可能遊戯台	同一機種 4グループ (コントロールモードにより 5グループ) ・遊戯台用信号入力 4点(5点)		
コントロールモード	用途に合わせ、DIPSW で設定		
		コントロールモード	係員呼出 不正検知
	1	係員呼出 A(後入力切替)	5点 -
	2	係員呼出 B(順次記憶)	5点 -
	3	係員呼出 A(後入力切替) & 不正検知A(1 回出力)	4点 1点
	4	係員呼出 A(後入力切替) & 不正検知B(エンドレスリピート出力)	4点 1点
	5	不正検知 A (1 回出力-順次記憶)	- 5点
	6	不正検知 B(エンドレスリピート出力)	- 5点
	7	予備	- -
	8	テストモード(電源 ON 登録データ確認用)	- -
音声・音響出力	ライン出力	600Ω 不平衡 0dBm (-6.5dBm~1.5dBm) PIN ジャック	
	モニタースピーカー出力	5W 8Ω ミニジャック	
音声・音響調整	ライン出力	本体内部ボード上の半固定 VR (-10dB~0dB)	
	モニタースピーカー出力	可変ボリューム (リアパネル シャフト VR)	
信号制御	入力部 無電圧メーク接点またはNPNオープンコレクタ /IN1-4 /IN5 /STOP 出力部 オープンコレクタ出力(DC+50V, 500mA) /BUSY		
信号入力 [遊戯台用]	■遊戯台用 5点(4点+1点) /IN1-4 /IN X /STOP 無電圧メーク接点またはNPNオープンコレクタ (注)上記コントロールモードにより、入力端子の信号割付が異なる		
信号出力 [外部機器用]	■外部機器用 2点 /OUT F /OUT X オープンコレクタ出力(DC+50V, 500mA) /BUSY		
適用メモ리카ード	CF カード 32/64/128/256/512MB/1GB		
再生方式	PCM 方式—WAVE ファイル 44.1/22.05KHz 16/8Bit モノラル		
再生帯域	300Hz~10KHz		
登録時間	カード容量と WAVE ファイルのサンプリング周波数による 44 分 max.(256MB 44.1KHz 16Bit Mono 時)		
	カード容量	通常	
		44.1KHz 16Bit Mono	22.05KHz 16Bit Mono
		128MB	22.4 分
256MB	44.8 分	89.6 分	
再生時間	登録した時間 またはプログラム再生登録した場合、プログラム内容による		
付属品	CF カード 128MB 1 枚 (サンプルデータ入/サポートソフト pMAX Editor 収録) AC アダプタ 1 個 (IN AC100V 50/60Hz OUT DC+24V 1A)		
適用サポートソフト	pMAX Editor [CF カード内収録または無償 WEB 配布]		
オプション (ディーラー)	[ディーラーオプション] 拡声アンプユニット スピーカーユニット 接続アダプタ他		

■外形図 210W X 44H X 163Dmm ブラック



■WAV2500-P01 のカードデータとの互換性

pMAX-A1 は VoiceNavi Editor で作成したカードデータでも認識して再生できます。
したがって WAV2500-P01 のカードデータも再生できます。但し、接点端子の割り付けが異なります。

iMAX Editor					VoiceNavi Editor					
入力端子	DIP SW 設定	No.	R	1	2~4	No.	S	R	1	2~8
IN1	A (DIP SW 1-2)	1	1	データ 01		1	1	1	データ 01	
		2	1	データ 02		2	1	1	データ 02	
		3	1	データ 03		3	1	1	データ 03	
		4	1	データ 04		4	1	1	データ 04	
IN2	B (DIP SW 3-4)	5	1	データ 05		5	1	1	データ 05	
		6	1	データ 06		6	1	1	データ 06	
		7	1	データ 07		7	1	1	データ 07	
		8	1	データ 08		8	1	1	データ 08	
IN3	C (DIP SW 5-6)	9	1	データ 09		9	1	1	データ 09	
		10	1	データ 10		10	1	1	データ 10	
		11	1	データ 11		11	1	1	データ 11	
		12	1	データ 12		12	1	1	データ 12	
IN4	D (DIP SW 7-8)	13	1	データ 13		13	1	1	データ 13	
		14	1	データ 14		14	1	1	データ 14	
		15	1	データ 15		15	1	1	データ 15	
		16	1	データ 16		16	1	1	データ 16	
INX (IN5)	DIP SW では設定できません	17	1	データ 17		17	1	1	データ 17	

(注)本書中記載の商品・社名は各社の商標または登録商標です。本書記載の仕様・概観は改良等により、予告なく変更になることがあります。

VoiceNavi 三共電子株式会社

〒381-3203 長野県上水内郡中条村中条 38 TEL 026-268-3950 FAX 026-268-3105

URL <http://www.voicenavi.co.jp/> E-mail: info@voicenavi.co.jp